



音声とイラストで楽しく学ぶ

やさしい フランス語 の 発音

〔新装版〕

小島 慶一

語研

音声無料
ダウンロード



音声とイラストで楽しく学ぶ

やさしい フランス語 の 発音

〔新装版〕

小島 慶一

語研

本書は 2017 年に刊行された『やさしいフランス語の発音〔改訂版〕』を音声無料ダウンロード対応として再刊行したものです。

はじめに

Préface

言葉を勉強するということは、その国の文化、歴史など、あるいは現在の社会に興味があるからで、なんの目的も無いことはありません。言葉を介してのコミュニケーションは、程度の差こそあれその国を心で感じるための第一歩です。そしてそこに暮らす人々を好きになる第一歩でもあるのです。

フランス語は文化に裏打ちされた言語です。フランスについての情報はほとんどの場合、日本語の翻訳によるものです。誰でもフランス語ができればどれだけフランスを楽しむことができるだろうかと、いつかは思ったに違いありません。フランス語はきれいだ、しかしフランス語を勉強することは難しすぎると思ってはいませんか。言葉はフランス語に限らずすべてきれいです。日本語だって外国の人達から見れば難しいと言われます。でも私たちは不自由なく使っています。

どんな言葉でも心がゆがんでいれば、発せられる音声はきれいではありません。フランス語がきれいだと言われるのは、ひとりひとりが言葉を大事にしているからでしょう。同時に発音に関して注意しているからでしょう。日本人はやたらに外国語を取り入れて、カタカナにして平気で使おうとします。意味がはっきりしなくても、見た目のよさだけで使いたがります。言葉の大事さがわかっていないのです。共通の発音、地方の発音など今までに日本語の音声指導を学校の授業で受けたことがありますか。フランス人は子供でさえ、旅行したときの地方の発音をまねしながら、自分たちのものとはこのように違う、と言って教えてくれます。

言葉の音声が必要なことはわかっている、正面から取り組む姿勢が日本人には少ないのです。これが外国語を勉強する意欲を後退させています。

本書ではフランス語に関してごく基本的な音声知識をまず簡単に紹介します。それから練習をくり返ししながら、次の段階へと進みます。きれいな発音ということを行いました、本書では発音をカナで示しません。理由は本文を見てください。発音の基礎をしっかりと覚えてしまえば、あとは練習のみです。

旅をするにしても、フランスに入り込むにしても、ヨーロッパでは最も大事な言語のひとつであるフランス語の発音をものにしてください。

2002 年 8 月

小島 慶一

目 次

Table des matières

はじめに.....	3
本書の構成と使い方	7








準備編

フランス語の発音は難しくない.....	10
発音をカタカナで書くのはもうやめよう.....	11
発音記号で練習しよう.....	12

I 子音

 003 [f] [v]	16	 032 [m]	30
 008 [p].....	18	 036 [n].....	32
 012 [β].....	20	 042 [s] [z].....	34
 017 [p] [b].....	24	 047 [ʃ] [ʒ].....	36
 022 [t] [d].....	26	 056 [l].....	38
 027 [k] [g].....	28	 062 [ŋ].....	40

II 母音

 064 [i] [y] [u].....	44	 085 [a] [ɑ].....	52
 069 [i] [e] [ɛ].....	46	 089 [ɛ̃] [œ̃] [ã] [ɔ̃].....	53
 074 [u] [o] [ɔ].....	48	 096 長音化 [ː].....	55
 079 [y] [ø] [ə] [œ].....	50		

III 綴りと発音

 104 [1] 母音字 e の発音	60
 111 [2] 語尾の子音の発音	66

🎧 113	【3】 単母音字の発音	67
🎧 116	【4】 複母音字の発音	68
🎧 123	【5】 鼻母音の綴りと発音	70
🎧 128	【6】 半母 [子] 音の現れる綴りと発音	72
🎧 143	【7】 単子音字に母音が後続したときの子音の発音	76
🎧 157	【8】 複子音字の発音	80

IV リエゾン・アンシェヌマン・エリズィオン

🎧 162	【1】 リエゾン	82
🎧 181	【2】 アンシェヌマン	86
🎧 187	【3】 エリズィオン	88

V 音節とアクセント

🎧 193	【1】 音節	92
🎧 197	【2】 アクセント	96

VI イントネーションとリズム

🎧 203	【1】 イントネーション	100
🎧 215	【2】 リズム	106

フランス語らしく話すために

音声語でとらえるフランス語	112
🎧 221 冠詞から始まるグループ	113
🎧 237 前置詞から始まるグループ	116
🎧 247 名詞から始まるグループ	118
🎧 249 形容詞相当語から始まるグループ	119
🎧 255 副詞から始まるグループ	121
🎧 267 人称代名詞から始まるグループ	123
🎧 287 関係代名詞から始まるグループ	126

🎧 295	指示代名詞から始まるグループ	128
🎧 317	不定代名詞から始まるグループ	131
🎧 323	接続詞から始まるグループ	132
🎧 341	動詞から始まるグループ	135
🎧 345	成句から始まるグループ	136
🎧 347	先行要素から始まるグループ	137
おわりに		138

【本文イラスト】 石橋富士子

【吹き込み】 Janick Magne / Jean-Claude Veyssière

本書の構成と使い方

Introduction

本書は大きく、「準備編」「本編」「フランス語らしく話すために」の3部構成となっています。

「準備編」では、本書でフランス語の発音を勉強していく際の基本的な姿勢について述べました。カタカナに頼っていては、正確なフランス語はなかなか身につけません。カタカナ表記の問題点と、発音記号による学習の利点について触れていますので、「本編」に進む前にぜひ、目をとっておきましょう。

「本編」では、「個々の音から文章へ」の流れに沿って、個々の音の特徴と発音のポイントから勉強していきます。日本語との比較についても解説しましたので、音の理解に役立ちます。

フランス語特有のリエゾン、アンシェヌマン、エリズィオン、そしてアクセント、イントネーション、リズムと、フランス語をフランス語らしくしている様々な音の現象についても学びます。

見慣れない綴りをどう読み、どう発音するのかについても解説しましたので、順を追って学習していけば、音に関する基礎はひとつとおり身につくようになっています。

「フランス語らしく話すために」では、フランス人が、言いたいことをどのように頭のなかで組み立てているのか、について解説しました。自分でフランス語を組み立てていくときの参考になります。あいさつ等の定型表現を覚えたら、どんどんフランス語を使ってみましょう。


2016年9月より、初等教育課程の教科書で一部のアクセント記号（î, û）が消え、一部の母音字やハイフンが省略されることとなりました。この変更の目的は、つづりの誤りや不一致を是正することであり、発音自体には影響はありません。本書は、新式の表記に沿ったものではなく、往來の表記となっています。

音声の無料ダウンロードについて

- 下記の URL または QR コードより、本書紹介ページの【無料音声ダウンロード】にアクセスしてご利用ください。

<https://www.goken-net.co.jp/catalog/card.html?isbn=978-4-87615-462-3>



- 各見開きの右上に記載された QR コードを読みとることで、その見開きページ内にある音声を再生することもできます。
- 音声には見出しの日本語部分も収録されています。フランス語部分だけを頭出しで聞きたい場合、テキスト中のファイル番号  003 ～ をご参照ください。
🔊 で示した箇所の音声が入録されています。
- テキストで音の特徴を理解したら、付録音声で実際の発音を聞き、くり返し練習しましょう。正確なフランス語を身につけるために、是非音声をご活用ください。



準備編

1

フランス語の発音は難しい

■外国語としてのフランス語

皆さんはフランス語に興味があっても、いざ始めるとなると躊躇しませんか。無理もないことです。今日本では、外国語といえば英語ですね。中学生のときから始めて、なんとなく耳が慣れているために、「どうせ関わるならば少しでも知っている外国語を…」となれば、当然英語ということになるでしょう。でもこんなふうに考えたことはありませんか。英語という外国語をせっかく学んできたのですから、他の外国語も要領はつかみやすいと。実際、フランス語と英語は、同じ綴りの語が頻繁に出てきます。それは、1066年にノルマンディー公ウィリアム一世のイングランド征服があって、そのときにフランス語が英語に持ち込まれたからなのです。ですから、語彙の面でもフランス語は非常に入りやすいのです。

■フランス語の発音

それと発音ですが、皆さんは聞き慣れないために、やたらフランス語の発音は難しいという、先入観にとらわれているのです。

例えば table という単語は皆さんご承知ですよ。日本人は「テーブル」と発音します。英語圏の人は「ティブル」と発音します。フランス人は「ターブル」と発音します。どこが違うのでしょうか。何やら a の発音の仕方の違いのようですね。そこでゆっくりそれぞれを発音してみますと、日本語とフランス語は a の発声中にあごの動きがありませんね。

一方英語はどうですか。「エイ」と発音しているときに明らかにあごが閉じる動きをしています。母音の発音をするときのフランス語の第一の特徴は、発声中にあごの動きの少ないことなのです。

a ひとつ取ってみても、英語は a pen, cat, table, part など音声の環境によって皆発音が違います。フランス語から見れば非常に難しいのです。フランス語は a が出てくれば常に [a] でしかありません。ローマ字を習い始めたときのことを思い出してください。一文字一音でした。フランス語はローマ字読みを発展させればいいのです。こうした原則がわかれば、あとは綴りと音声を知るだけです。これから無理なく勉強していきましょう。

2

発音をカタカナで書くのはもうやめよう

■カタカナ表記の限界

英語を習い始めたときのことを思い出してください。教室では先生はカタカナで発音の仕方を黒板には書かなかったでしょう。発音記号を書いて教えてくれたはずですが、でもそれが覚えられなくて、そっとカタカナを書き添えたことはありませんか。そのあたりから発音の上達が遅れてしまったのかもしれませんが。

英語では l と r の発音の区別がありますね。ところが日本語では同じなのです。ですから light, right はどちらも [ライト] と書くしかないのです。この違いに気づいている人は、例えば [ライト] [ラ^oイト] のように区別をして書けば上出来です。しかしそのような区別をするにはカタカナにない音が多すぎて、実際は不可能です。

■発音記号を覚えよう

フランス語にしても事情は同じです。例えば long「長い」と rond「丸い」は [ロン] とカタカナで書くしかないでしょう。それを例えば rond に対して、[ろン] と書いて [ロン] と区別しようとする文献もありますが、苦勞の跡が見られます。それなら初めから r に対する音声記号で覚えたほうが賢明です。l と r は音質が大きく違いますので、共にカタカナで示してはフランス語になりません。音声記号もはっきり違います。さらに [ロン] の [ン] の音はフランス語と似ていても違うのです。[オ] の音が鼻に抜けるだけで、舌やあごは動きません。[ン] と書かれてしまうと、どうしても n の音を発音してしまいます。このときは舌先が上の歯の裏の根元に接しているでしょう？ これは long の正しい音ではありません。

こんなことを言うと、ますますフランス語の発音が難しく感じられます。でもそれはカタカナを頭に思い浮かべるからそうなるだけであって、これからお話しする発音記号を知ってしまえば、いとも簡単にこの問題は解決されてしまいます。外国語教育が国際的に共通の記号で教えられれば、発音で苦しむことはありません。現に国際音声記号があるのです。発音は言葉の基礎ですから、まずは慣れ親しむことが第一です。

ここではフランス語に関係する記号のみを掲げて、練習したいと思います。これからは絶対にカタカナで発音を覚えようなんていうことはやめましょう。そんなことしたらめちゃくちゃです。

3

発音記号で練習しよう

子音の種類

■これは IPA（International Phonetic Alphabet 国際音声記号）といって、世界の音声学者がまとめている子音表です。ここではフランス語に関係のあるもののみ示します。

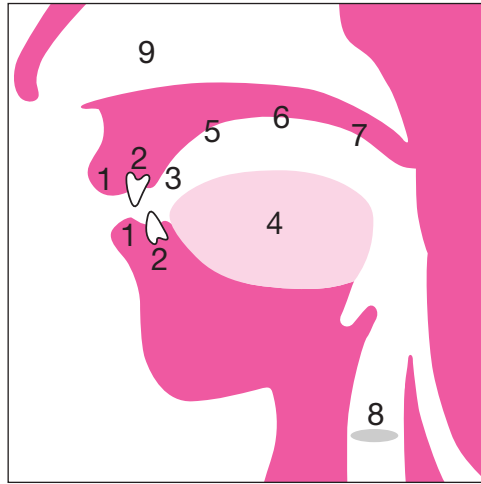
	両唇音	唇歯音	歯音	歯茎音	後部歯茎音	そり舌音	硬口蓋音	軟口蓋音	口蓋垂音	咽頭音	声門音
破裂音	p / b			t / d				k / g			
鼻音	m			n			ɲ	(ŋ)			
ふるえ音											
はじき音											
摩擦音		f / v		s / z	ʃ / ʒ				ʁ		
側面摩擦音											
接近音											
側面接近音				l							

記号が 2 つ並んでいるものは、右が有声音、左が無声音。(1993 年改定・1996 年修正)

この表の見方をまずは覚えてください。例えば [p] は両唇で破裂の場所にありますね。この音は両方の唇を用いて、軽く呼気を破裂させるだけです。「両唇破裂音」と呼んでいます。あるとき学生がこれを「爆発音」と言っていましたが、これではつばが飛び散ったり、唇が裂けてしまいそうです。気持ちはわかります。

[p] は息だけが出るのであって、もし声が出ていれば、[b] の音です。このときは有音といつて、声帯が振動しています。のどぼとけに指を当ててみてください。振動が伝わってきます。こうして [pi] [pe] [pa] [po] [pu], [bi] [be] [ba] [bo] [bu] という音ができます。

■ 次の図を見てください。調音に関わる器官の名称です。これは左の IPA の表の上段の名称と順列が一致します。要するに唇と歯、口蓋と舌の位置関係だけで、とりあえず音が作られます。



- | | |
|--------|--------|
| 1. 唇 | 6. 軟口蓋 |
| 2. 歯 | 7. 口蓋垂 |
| 3. 歯茎 | 8. 声帯 |
| 4. 舌 | 9. 鼻腔 |
| 5. 硬口蓋 | |

最初に、日本語にはない特に大事な子音や、見慣れない発音記号で表す子音から説明していきます。

I 子音

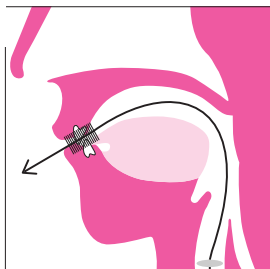
[f][v]

子音 1

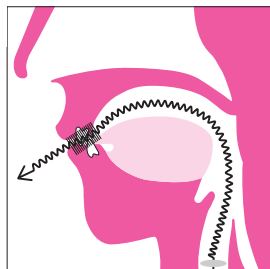
唇歯摩擦音

f〔無声〕, v〔有声〕

[f]



[v]



PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION

IPA の子音表〔p.12〕で唇歯音と摩擦音の交わったところに位置していますね。それで「唇歯摩擦音」という名前がつけられますが、下の唇の少し内側と上の歯先を軽く接して、息をもらせばいいのです。[f]は無声〔息の声〕, [v]は有声〔声帯の振動を伴う声〕です。

これに対して日本語で、「服」, 「深い」, 「夫婦」などを発音してみてください。日本語の「ふ」の音は唇が歯に接していませんね。

試しに「はひふへほ」と [fa, fi, fu, fe, fo] をゆっくりと発音してみてください。後者を日本語で「ふあ, ふい, ふ, ふえ, ふお」と発音していませんか。このときは両方の唇を使っていて、フランス語の [f] とは音質が違います。

まだ母音の発音記号が出てきませんが, [i, e, a, o, u] の母音をつけて [f] の練習をしましょう。

* ː は音を伸ばす記号です。



003

▶ [f : fi] [f : fe] [f : fa] [f : fo] [f : fu]

同じようにして [v] も練習してみましょう。



004

▶ [v : vi] [v : ve] [v : va] [v : vo] [v : vu]

発音の仕方は [f] と同じですが、無声ではなくて、有声ですね。日本語には [v] の音はありません。「びん」, 「便利」, 「ばら」, 「ボタン」, 「ぶらんこ」…みな [b] (p.24) ですね。[f] や [v] は本来日本語にない音なのです。

練習



006

次の語を発音してみましょう。今は発音記号のみに注意してください。

▶ [fi] **fi** 「ちえっ！」



▶ [vi] **vie** 「生命」

▶ [fe] **fée** 「妖精」



▶ [velo] **vélo** 「自転車」



▶ [fas] **face** 「顔」



▶ [va] **va** 「さあさあ、ほら」



▶ [fo] **faux** 「間違った」



▶ [vo] **veau** 「子牛」

▶ [fu] **fou** 「気の狂った」



▶ [vu] **vous** 「あなた」

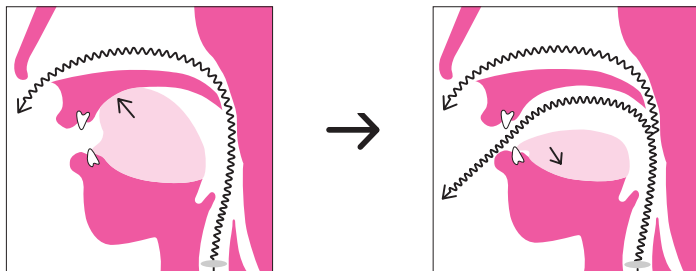


下の唇がそっと上の歯に触れていますか。

[ɲ]

子音 2

硬口蓋鼻音



PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION

[ɲ] は硬口蓋に舌の前部が接して声が鼻に抜けます。そして舌を下げると [ɲa] という音になります。[ɲa], [ɲo], [ɲu] という発音はもうわかりますね。[ɲa], [ɲo], [ɲu] は日本語にも出てきます。綴りについては後で述べますが, gn と綴るとき, フランス語では [ɲ] の音になります。日本語では頻繁に出ますので, 気にする必要はないでしょう。

猫は何と鳴く? - にゃんと鳴く。夏の空に出る雲は? - にゅどう雲。蛇はどんなふうに進む? - にょろにょろ。[ɲi], [ɲe] も日本語とほぼ同じと思ってください。

カナで書くと, 例えば「にゃ」を [ɲja] と発音する人がいるはずですが。これは間違いで [ɲa] でなければなりません。ほかも同じです。ですからカナで書くと音がわずかにずれることがあるのです。



008

▶ [p : pi] [p : pe] [p : pa] [p : po] [p : pu]



010

練習

次の語を発音してみましょう。発音記号だけに注意してください。

▶ [maɲifje] **magnifier** 「たたえる」

▶ [swaɲe] **soigner** 「世話をする」



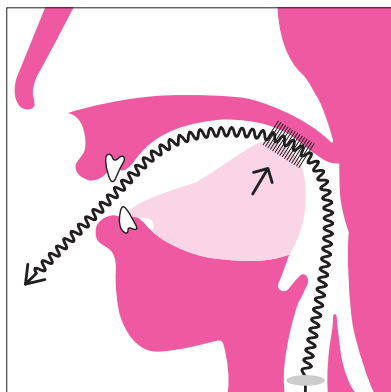
▶ [aɲo] **agneau** 「子羊」



[ʁ]

子音 3

口蓋垂摩擦音



PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION

一般には [r] で表されていますが、本書では国際音声記号に基づいて [ʁ] を用います。

実際は口蓋垂よりもう少し前よりだと思われますが、口蓋垂に舌の奥のほうが盛り上がって接近します。そのときに狭いところで呼気が摩擦して音が作られます。舌先は下の歯の裏側についています。音の聞こえはちょうどいびきをかくときの音に似ています。

[ʁ] はフランス語の中で一番頻繁に出る子音です。しかも日本語にはない非常に特徴的な音で、フランス語らしい響きを出す音です。この音が出せるようになれば、フランス語らしく聞こえてくるはずですよ。この音のために挫折をする人がいたとすれば、発音のコツを知らなかっただけのことです。慣れてしまえばなんていうことはありません。



012

▶▶ [k : ki] [k : ke] [k : ka] [k : ko] [k : ku]



014

練習

次の語を発音してみましょう。発音記号だけに注意してください。

▶▶ [pa:ki] **Paris** 「パリ」



▶▶ [ʁealite] **réalité** 「現実」



▶▶ [ʁa:k] **rare** 「まれな」



▶▶ [ʁo:z] **rose** 「ばらの花」



▶▶ [kule] **rouler** 「押す」



▶▶ [kwa] **croix** 「十字架」



▶▶ [k(ə)gaʁde] **regarder** 「見る」



▶▶ [k(ə)latif] **relatif** 「関係のある」



* ə については
P.51 参照。

[k] と [l] が近くにあったり、連続したりしたときは、両者の音の違いがはっきり出なくてはなりません。フランス語らしく響きますか。

ノート

フランス語には3種類のRの発音があります。[ʁ] [R] [r] です。混乱するのは、英語のRもやはり[r]で表されていますね。英語もフランス語も、そして日本語も発音の仕方が三様なのに、同じ[r]で表すのは変だとは思いませんか。フランス語の標準的な発音は、国際音声記号ではRの逆さ文字ʁを使って表すのがふつうです。

[ʁ]は口蓋垂、一般には「のどちんこ」といわれていますが、これを震わせる音です。これはあまり聞かれません。

[r]の音は歯茎ふるえ音です。舌先ふるえ音ともいいます。これはフランス語の音でもあるのですが、方言音です。特に南フランスにおける広い地域でこの音が聞かれます。カナダのフランス語もこの音を多く使います。日本語では江戸前すし屋さんで、「へいらっしゃい」と言うときに、この音が聞かれます。でも最近は威勢もなく、この音は廃れていると思われます。「へいらららっしゃい」くらいの音声を聞きたいものです。学生にこの音が出ないという人が時々います。別に気にすることはありません。目指すは[ʁ]の音ですから。

ちなみに〔練習〕の例を方言音の[r]で発音したらどう聞こえるでしょうか。どうぞお聞きください。



015

▶ [方言音で p.21 練習の単語を発音]

日本語の「ら行」は国際記号では、[r]を用います。この音を作るには、舌先のほんのわずが裏側を上歯茎にこすりつけて、はじくのです。それで「弾音」と呼ばれます。ギターを爪弾く様子に似ています。はじいているときに、頭が欠けてしまったのでしょうか!!!? 発音記号はrの頭の部分が欠けています。

英語のRは国際音声記号では[ɹ]を用いて、「そり舌接近音」という名称が与えられます。英語のR[ɹ]は舌の先が上に反り返っていますね。



これまでは日本語にはなかったり、あるいは見慣れない注意すべき子音について述べてきました。これからは残りの子音について、簡単な説明をします。日本語と大差はありませんので、難しくはないでしょう。



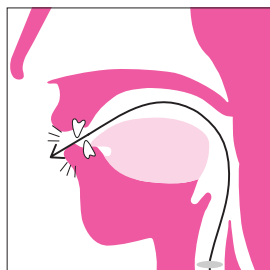
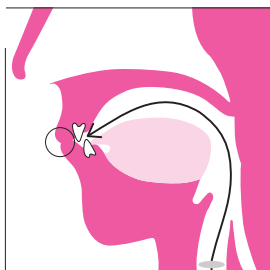
[p][b]

子音 4

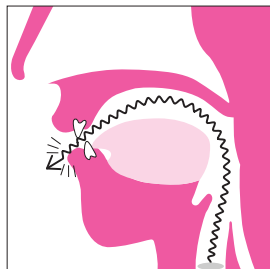
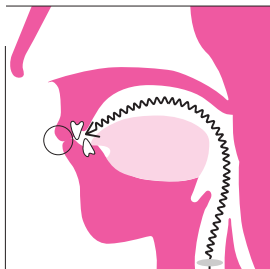
両唇破裂音

p〔無声〕, b〔有声〕

[p]



[b]



PRONUNCIATION

発音の仕方

PRONUNCIATION

両唇を閉じて軽く呼気を破裂させるだけです。息の場合は [p] で無声、声の場合は [b] で有声です。英語のように息の破出は強くありません。皆さんが英語を始めたときに、目の前にティッシュペーパーを持ってきて、[p] を発音すると紙が前方にふっと動きましたね。

This is a pen. と言ってみてください。pen と言ったときに紙が大きく動きますか。ちょっとした唇の動きの違いで紙の動きも違います。「これはペンです」と言うときに、紙の動きはかす



かです。発音記号はいずれも [p] で書きますが、言語によって音質は違うのです。「ちょっとペンを貸してくれない？」と言うときに、「ちょっとペヘンを貸してくれない？」と言ったら、気障なやつといって敬遠されます。英語はともあれ、フランス語の [p] は日本語の [p] と似ています。[b] も同様です。



017

▶ [pi] [pe] [pa] [po] [pu]



018

▶ [bi] [be] [ba] [bo] [bu]



020

練習

▶ [pi:ʁ] **pire** 「より悪い」



▶ [bis] **bis** 「アンコール」

▶ [pɛ:ʁ] **père** 「父」



▶ [bɛʁso] **berceau** 「ゆりかご」



▶ [pase] **passer** 「通り過ぎる」



▶ [bato] **bateau** 「船」



▶ [pɔ:ʁ] **port** 「港」



▶ [bɔ:ʁ] **bord** 「ふち」

▶ [pule] **poulet** 「若鶏」



▶ [bu] **bout** 「先端」



▶ [aplodi:ʁ] **applaudir**



▶ [bʁa] **bras** 「腕」

「拍手喝采する」

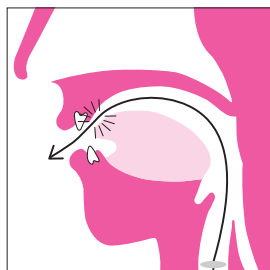
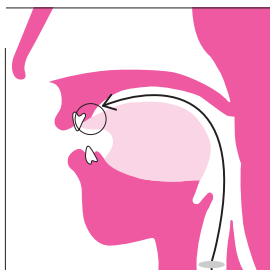
[t][d]

子音 5

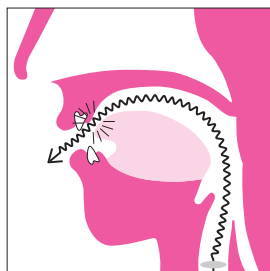
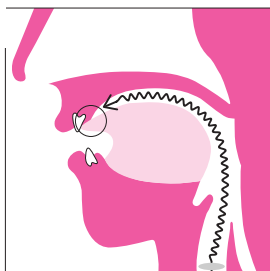
歯茎破裂音

t〔無声〕, d〔有声〕

[t]



[d]



PRONUNCIATION

発音の仕方

PRONUNCIATION

舌先を上歯の裏の歯茎に接して軽く破裂させるだけです。息の場合は [t] で無声、声の場合は [d] で有声です。

[te] [ta] [to] は日本語の「て」「た」「と」でかまいません。日本語の「たちつと」が影響していると思われますが、[ti] [tu] は「ち」[tʃi] 「つ」[tsu] にならないように注意しましょう。

皆さんはチリ紙を「チッシュ」と言いますか。「**ティ**ッシュ」と言うでしょう。その「ティ」の音です。[tu] はたとえる言葉が見つかりませんが、[t] のあとでほとんど同時に [s] の音を出



すと「つ」になりますので、注意してください。[t] は破裂音, 「つ」
[[tsu]] は破裂と摩擦が同時に出ますので, 「破擦音」と呼ばれ
ます。「ち」も「つ」もフランス語にはありません。



022

▶ [ti] [te] [ta] [to] [tu]

[de] [da] [do] は日本語の「で」「だ」「ど」でかまいません。
[di], [du] は「ぢ」[[dʒi]], 「づ」[[dzu]] にならないように注
意しましょう。これらも「破擦音」でフランス語にはありません。
要するに [di] は「**ディ**スコ」の [di], これを「ジスコ」と言う
人はいません。[du] は [tu] の音を有声にしてください。



023

▶ [di] [de] [da] [do] [du]



025

練習

▶ [tɪʁ] **tirer** 「引く」



▶ [tɛ] **thé** 「茶」

▶ [taba] **tabac** 「たばこ」

▶ [ɔ(o)tɔ] **auto** 「自動車」



▶ [tu] **tout** 「全体の」



▶ [diʁ] **dire** 「言う」



▶ [dɛpɔ] **dépôt** 「預金」



▶ [dabɔʁ] **d'abord** 「まず」



▶ [do] **dos** 「背中」



▶ [du] **doux** 「甘い」

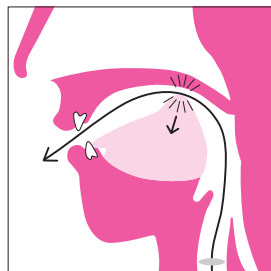
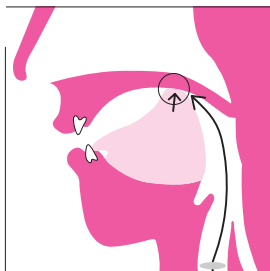
[k][g]

子音 6

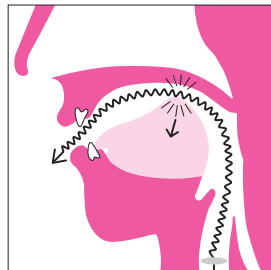
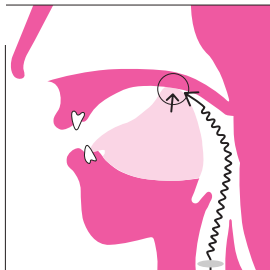
軟口蓋破裂音

k〔無声〕, g〔有声〕

[k]



[g]



PRONUNCIATION

発音の仕方

PRONUNCIATION

「か」と発音してみてください。舌の背が軟口蓋に接して離れますね。離れるときに呼気が破裂します。「か」は[k]と[a]の音が同時に発音されますが、フランス語の[k]の音は日本語の「か行」、すなわち「きけかこく」の[k]でかまいません。



027

▶▶ [ki] [ke] [ka] [ko] [ku]

[g]は有声で、「が行」、すなわち「ぎげがごぐ」の[g]でかま



いません。



028

▶▶ [gi] [ge] [ga] [go] [gu]



030

練習

▶▶ [kilo] kilo 「キロ」



▶▶ [kɛ] quai 「プラットフォーム」

▶▶ [kafe] café 「コーヒー」



▶▶ [kote] côté 「わき腹, 側面」



▶▶ [bokʁ] beaucoup 「たくさん」



▶▶ [gita:ʁ] guitare 「ギター」



▶▶ [gɛ:ʁ] guerre 「戦争」

▶▶ [ga:ʁ] gare 「駅」



▶▶ [fʁigo] frigo 「冷蔵庫」



▶▶ [gu] goût 「味」



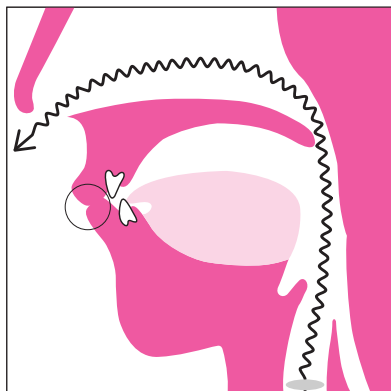
ノート

[ki] という音は [i] の舌が前寄りのため、口蓋と接する舌の面が軟口蓋から硬口蓋へ、さらに後部歯茎にまで移り、[tʃi] 「ち」の音に近づくことがあります。日本でもある地方では「きうり」を「ちうり」と言ったりするところがあります。「モンキー」を「モンチー」、さらには「モンチッチ」なんてありましたね。

[m]

子音 7

両唇鼻音



PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION

両唇を閉じて、呼気を鼻から出せばこの音が出ます。「ま」と言ってください。最後に「あ」と聞こえますか。その前に響く音が [m] です。日本語の「ま行」、すなわち「みめまもむ」の [m] でかまいません。



032

▶ [m : mi] [m : me] [m : ma] [m : mo] [m : mu]



034

練習

▶▶ [ami] ami 「友達」



▶▶ [mari] mari 「夫」



▶▶ [mu] mou 「柔らかい」



▶▶ [metro] métro 「地下鉄」



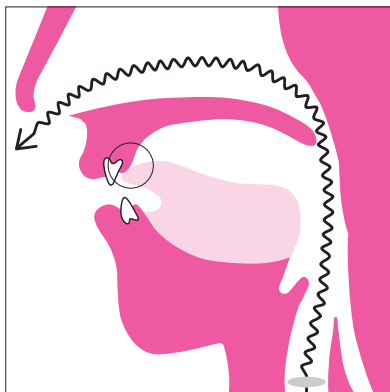
▶▶ [moto] moto 「オートバイ」



[n]

子音 8

歯茎鼻音



PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION

舌先を上歯の裏の歯茎に接し、呼気を鼻から出せばこの音が出ます。このとき両唇は閉じてはいません。「な」と言ってください。最後に「あ」と聞こえますか。その前に響く音が[n]です。日本語の「に」は別として、「ねなのぬ」の[n]でかまいません。[n]と発音しながら[i]を同時に発音すれば、フランス語の[ni]になります。[n : ni]と発音してください。[p : pi]との違いがわかりますか。



036

▶ [n : ni] [n : ne] [n : na] [n : no] [n : nu]

[ni] のときは、舌先が上歯の裏の根元に接していますね。ところが日本語の「に」を発音するときは、舌の前面のところが、上歯の裏の根元よりもう少し奥の広い部分に接している



でしょう。ここを硬い口蓋, すなわち硬口蓋と呼んでいますが, 調音域といって音を作る場所が [ni] よりも広く, [ɲi] で表します。これが日本語の「に」です。決して [ni] ではありません。



練習 1

038

▶ [nis] **Nice** 「ニース」



▶ [naif] **naïf** 「お人好しの」



▶ [nuvo] **nouveau** 「新しい」



▶ [nesese:ʁ] **nécessaire** 「必要な」



▶ [nos] **noce** 「結婚式」



練習 2

040

▶ [fini] **fini** 「終わった」



▶ [sone] **sonner** 「鳴る」



▶ [ano] **anneau** 「輪」



▶ [vini] **Vigny** 「ヴィニー (詩人の名)」



▶ [be(e)ɲe] **baigner** 「入浴させる」



▶ [apɔ] **agneau** 「子羊」

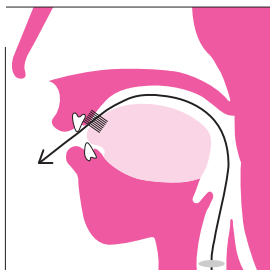
[s][z]

子音 9

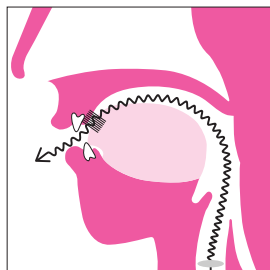
歯茎摩擦音

s〔無声〕, z〔有声〕

[s]



[z]



PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION

舌先を上歯の裏の歯茎に近づけ、呼吸を歯茎と舌先の間の狭いところを通過させます。このときに出る息の摩擦の音が [s] です。そして声が出れば有声の [z] です。[s] は「せさすず」、[z] は「ぜざぞず」の音でかまいません。



042

▶ [s : si] [s : se] [s : sa] [s : so] [s : su]



043

▶ [z : zi] [z : ze] [z : za] [z : zo] [z : zu]

[si] [zi] が「し」〔[ʃi]〕「じ」〔[ʒi]〕とならないように注意しましょう。映画を「スイネマ」という人が増えていますね。このとき「シネマ」という人の発音と比べてみてください。「スイネマ」は [si] に近いのです。[zi] は [si] の有声音です。この音を「スイ」、「ズィ」と書く人をよく見ますが、[swi] [zwi] とならないようにしてください。



045

練習

▶▶ [mɛʁsi] **merci** 「ありがとう」 ↔



▶▶ [sɛzi:ʁ] **saisir** 「捕らえる」



▶▶ [puse] **pousser** 「押す」 ↔



▶▶ [zɛʁo] **zéro** 「ゼロ」



▶▶ [samdi] **samedi** 「土曜日」 ↔



▶▶ [mezami] **mes amis** 「私の友人たち」



▶▶ [so] **seau** 「バケツ」 ↔



▶▶ [zo] **zoo** 「動物園」



▶▶ [suvni:ʁ] **souvenir** 「記念品」 ↔



▶▶ [dezurs] **des ours** 「何頭かの熊」



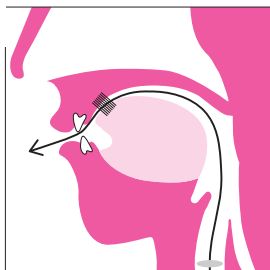
[ʃ][ʒ]

子音 10

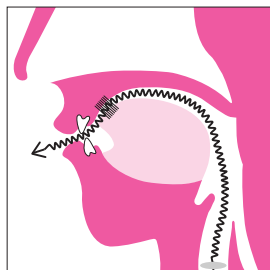
後部歯茎摩擦音

ʃ〔無声〕, ʒ〔有声〕

[ʃ]



[ʒ]



PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION

舌先を歯茎の奥に近づけ、呼吸を後部歯茎と舌先の間の狭いところを通過させます。このときに出る呼吸の摩擦の音が [ʃ] です。そして声が出れば有声の [ʒ] です。[ʃ] も [ʒ] も日本語の音を用いてかまいませんが、発音をカナで書かないようにしてください。というのは、例えば「しえ」と書くと [ʃe] ではなくて [ʃie] と発音する人が出てきます。[ʃ] と [e] は一体となって発音されなければなりません。ほかも同様です。



047

▶ [ʃ : ʃi] [ʃ : ʃe] [ʃ : ʃa] [ʃ : ʃo] [ʃ : ʃu]

[ʒ] は摩擦音ですから、[dʒ] という破擦音にならないようにしてください。つまり呼吸が閉鎖されることはありません。フランス語には破擦音はありません。



048

▶ [ʒ : ʒi] [ʒ : ʒe] [ʒ : ʒa] [ʒ : ʒo] [ʒ : ʒu]



練習 1

050

- ▶▶ [ʃimi] **chimie** 「化学」 ↔ ▶▶ [ʒile] **gilet** 「チョッキ」
 ▶▶ [ʃemwa] **chez moi** 「私の家に」 ↔ ▶▶ [ʒeni] **génie** 「天才」
 ▶▶ [deʃa] **des chats** 「何匹かの猫」 ↔ ▶▶ [deʒa] **déjà** 「すでに」
 ▶▶ [ʃofe] **chauffer** 「暖める」 ↔ ▶▶ [ʒoli] **joli** 「きれいな, かわいい」



- ▶▶ [ʃuʃu] **chouchou** 「秘蔵っ子」 ↔ ▶▶ [ʒu:ʁ] **jour** 「一日」



練習 2

052

- ▶▶ [sa] **ça** 「それ, あれ, これ」 ↔ ▶▶ [ʃa] **chat** 「猫」
 ▶▶ [so] **seau** 「バケツ」 ↔ ▶▶ [ʃo] **chaud** 「暑い」
 ▶▶ [su] **sous** 「～の下に」 ↔ ▶▶ [ʃu] **chou** 「キャベツ」



練習 3

054

- ▶▶ [zɛbʁ] **zèbre** 「しまうま」 ↔ ▶▶ [ʒɛdo] **jet d'eau** 「噴水」
 ▶▶ [zai:ʁ] **Zaïre** 「ザイール」 ↔ ▶▶ [ʒaji:ʁ] **jailir** 「湧き出る」
 ▶▶ [bizu] **bisou** 「キス〔幼児語〕」 ↔ ▶▶ [biʒu] **bijou** 「装身具」

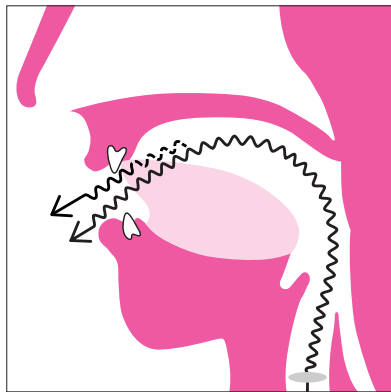
ノート

現代の日本語には、ある地方を除いて「ぢ」と「じ」, 「づ」と「ず」の区別はありません。日本人はこれらを破擦音で発音したり、摩擦音で発音したり、人によって違うようです。

[l]

子音 11

歯茎側面接近音



PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION

舌先を上歯の裏の歯茎に接し、呼気を舌の両側から出します。このときに出る有声の音が [l] です。舌の両側が上の両側の歯茎に接近するのでこの名称がついています。



056

▶▶ [l : li] [l : le] [l : la] [l : lo] [l : lu]



058

練習 1

▶▶ [li] **lit** 「ベッド」▶▶ [tele] **télé** 「テレビ」▶▶ [lave] **laver** 「洗う」▶▶ [tablo] **tableau** 「絵」▶▶ [lu : ʁ] **lourd** 「重い」

[l] とすでに出た [ʁ] を比べながら発音練習しましょう。両者を混同して発音すると意味が違ってしまいますので大変です。



060

練習 2

▶▶ [li:ɾ] lire 「読む」

▶▶ [le] laid 「醜い」

▶▶ [la] las 「疲れた」



▶▶ [lu] loup 「狼」



▶▶ [lwa] loi 「法律」



↔ ▶▶ [ri:ɾ] rire 「笑う」

↔ ▶▶ [ɾe] raie 「線, 縞」

↔ ▶▶ [ɾa] ras 「髪が短く刈られた」



↔ ▶▶ [ɾu] roue 「車輪」



↔ ▶▶ [ɾwa] roi 「王」



ノート

英語の let の [l], people の [l] の違いをご存じですか。また little の最初の [l] と次の [l] が違うことをご存じですか。語頭にくる「明るい l」と語尾に現れる「暗い l」の違いです。「暗い l」は「明るい l」よりも舌がもう少し後ろにひかれて、ときに母音の [u] の音にも近づきます。

皆さんは英語を習い始めた頃、people が「ピープゥ」とか「ピーポォ」、pupil が「ピューピゥ」とか、「ピヨピヨ」とか、「ピウピウ」なんて聞こえませんでしたか。

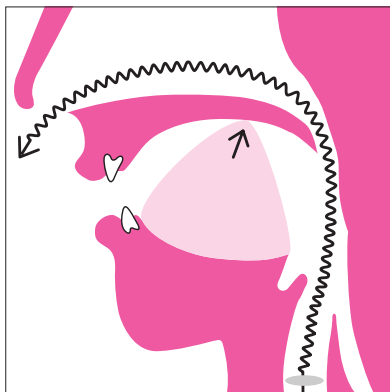
フランス語には「明るい l」しかありません。英語の語頭にくる l で発音してください。といっても難しい人には、[l:li] [l:le] [l:la] [l:lo] [l:lu] というように、l を少々伸ばしながら、まず舌の位置を覚えるといいかもしれません。



[ŋ]

子音 12

軟口蓋鼻音



PRONUNCIATION

発音の仕方

PRONUNCIATION

これは本来フランス語にはない音です。英語からの音で、king [kiŋ] のように -ing の発音です。このとき「キング」と言っても鼻濁音の「グ」を発音していませんか。それは間違いで、聞こえるのは「キン」だけです。そのとき舌の後方が軟口蓋に接しているだけです。



練習

062

▶ [mitiŋ] meeting 「集会」

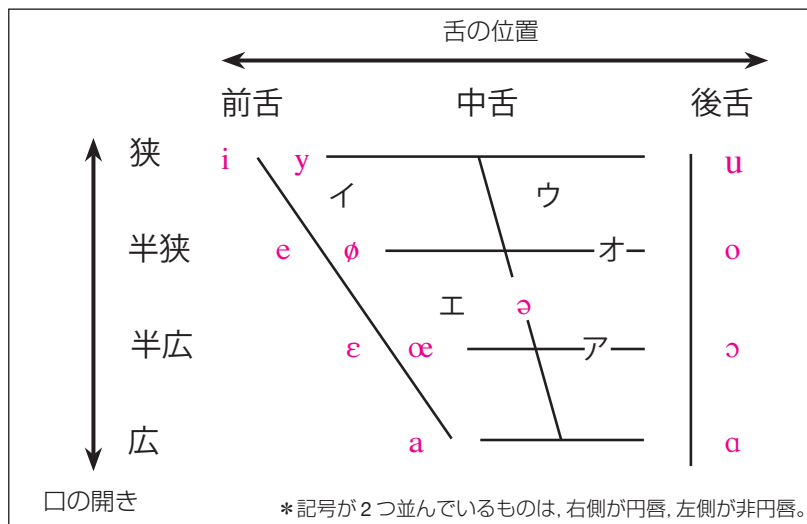


▶ [pa:kiŋ] parking 「駐車場」



Ⅱ 母音

次に母音について話しましょう。フランス語に関する母音だけを示します。



■フランス語の母音

フランス語の母音は 16 あります。上の 12 に加えて、「鼻母音」という鼻にかかる母音が 4 つあります。

■縦の関係

図の縦の関係は口の開きです。下にいくほど下あごが動きます。口の開きをせばめて、「ア」と発音してみてください。きれいな「ア」は出ませんね。ですから「イ、エ、ア」と発音するときには、順に口が開いていくのです。ところで、口の開きをそれほどはっきり示さなくても、「イ、エ、ア」の音は出ます。最初は口を順に開きながら、「イ、エ、ア」、「イ、エ、ア」とくり返し、だんだん口の開きを狭く固定して、「イ、エ、ア」、「イ、エ、ア」と言うと、開口は関係なく「イ、エ、ア」が発音されています。そのとき舌の動きを感知してください。舌がよく動いていることに気づくでしょう？ 腹話術は特殊ですが、発音できるということは、開口以

外の手段があるということです。それは舌の動きです。

■横の関係

横の関係は舌が前寄りか後寄りかということです。これは大事です。それに唇が平たいか丸いかということを組み合わせれば、すべて出来上がりです。[i, e, ε, a] は前から見ると唇が平たく、舌が前寄り。[y, ø, ə, œ] は唇が丸く、舌が前寄り。[u, o, ɔ, ɑ] は唇が丸く、舌が後寄りで順に開口すればいいのです。

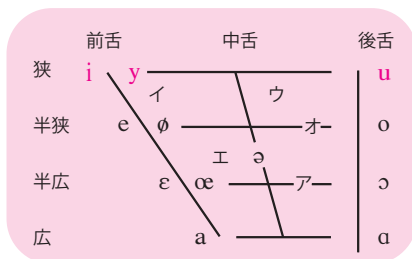
■日本語の母音

日本語には母音が5つ「イ、エ、ア、オ、ウ」あります。日本語の母音はどのあたりに位置するかというと、前ページの図の中にカタカナで示しました。日本人が発音するとき、口の開きや舌の前後の動きが、フランス人よりも小さく活発ではないことがわかります。

母音 1



▶▶ [i] [y] [u]

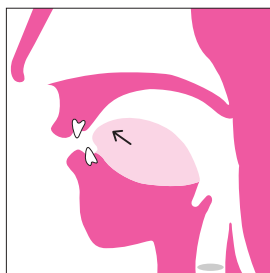


▶▶ [i]

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



日本語の「イ」よりも唇を横に引きます〔平唇〕。舌の前部は硬口蓋に近づき、口の開きは狭くします。

▶▶ [isi] **ici**

「ここに」

▶▶ [si] **si**

「もし〜ならば」

▶▶ [fini:ʁ] **finir**

「終える」

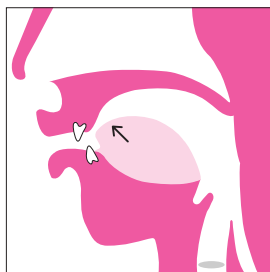


▶▶ [y]

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



日本語の「ユ」に唇を突き出して〔円唇〕, もっと緊張させた響きです。舌の前部が硬口蓋に近づき、口の開きは狭くなります。

▶▶ [yni] **uni**

「結合した」

▶▶ [ty] **tu**

「君」

▶▶ [sy:ʁ] **sûr**

「確かな」



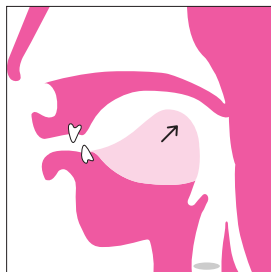
▶▶ [u]

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION

14



「牛」, 「馬」と言ってみてください。唇が丸く突き出ていますか。いませんね。日本語の「ウ」は平唇です。[u]を発音するときは、心して唇を丸く突き出すようにしてください。

▶▶ [ibu] **hibou**

▶▶ [nu] **nous**

▶▶ [ʃu] **chou**



「みみずく」



「私たちは」

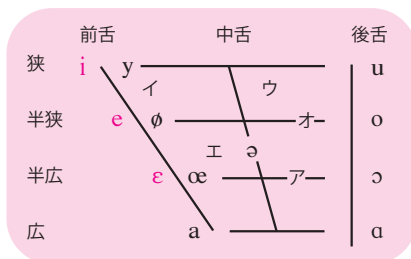


「キャベツ」

母音 2



▶ [i] [e] [ɛ]

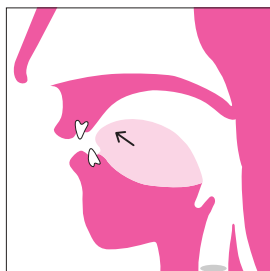


▶ [i]

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



日本語の「イ」よりも唇を横に引きます〔平唇〕。舌の前部は硬口蓋に近づき、口の開きは狭くします。

▶ [sis] **six**

「6 (の)」

▶ [ski] **ski**

「スキー」

▶ [lis] **lis**

「ゆり」

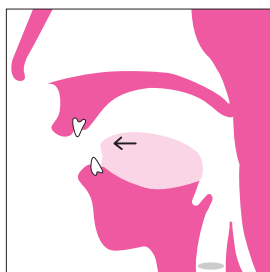


▶ [e]

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



[i] を発音しながら、口をもう少し開きます。

▶ [egliːz]
église

「教会」

▶ [tenis]
tennis

「テニス」

▶ [ide]
idée

「考え」

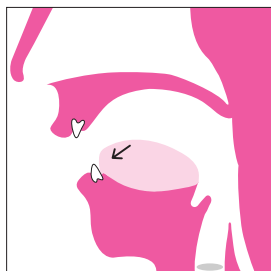


[ɛ]

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



[ɛ] を発音しながら、口をもう少し開きます。

[fɛ] fait

[fɛ:k] faire

[fɛ:k] fer



「事実」



「作る」

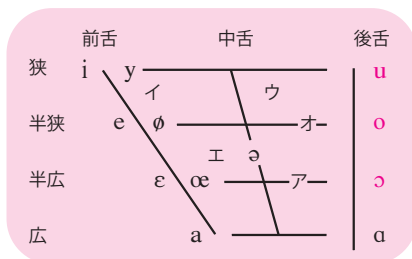


「鉄」

母音 3



「[u] [o] [ɔ]

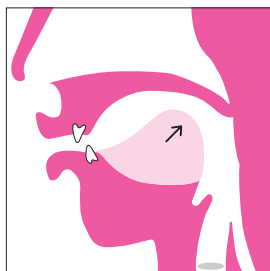


「[u]

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



唇は前から見ると丸く軽く突き出ています。舌の後部を軟口蓋に近づけ、口の開きを狭くします。

「[ekute] écouter



「聞く」

「[fudɛʁ] foudre



「稲妻」

「[u] ou



「あるいは」

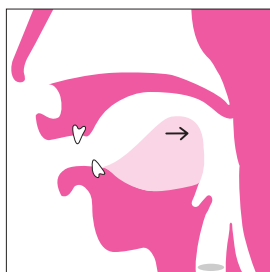


「[o]

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



[u] を発音しながら、口をもう少し開きます。

「[poze] poser



「置く」

「[po] pot



「壺」

「[osi] aussi



「～と同様に」

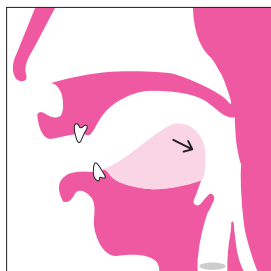


[ɔ]

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



[o] を発音しながら、口をもう少し開きます。

▶ [fɔːʁ]
fort



「強い」

▶ [ɔːʁ]
or



「金」

▶ [telefɔne]
téléphoner

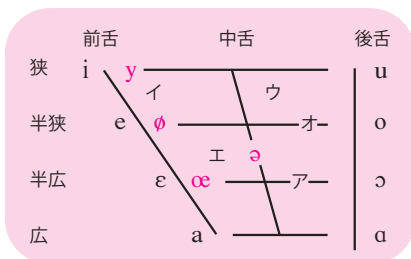


「電話する」

母音 4



「[y] [ø] [ə] [œ]」

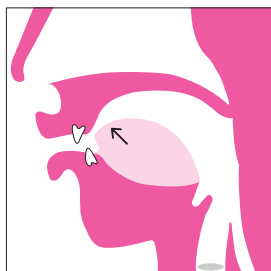


「[y]」

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



日本語の「ユ」に唇を突き出して（円唇），もっと緊張させた響きです。舌の前部が硬口蓋に近づく，口の開きは狭くなります。

「[py:ʁ] pur



「純な」

「[fyme] fumer



「タバコを吸う」

「[pɛʁdy] perdu



「道に迷った」

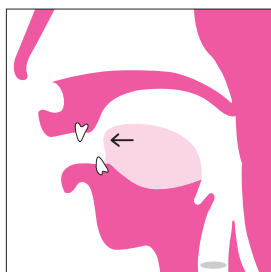


「[ø]」

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



[y] を発音しながら，口をもう少し開きます。

「[pø] peu



「少し」

「[fø] feu



「火」

「[kø] queue



「尾」

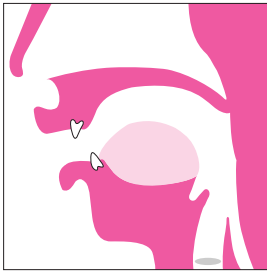


[ə]

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



この母音は、意識して発音しようとしても難しいのです。言葉を探すのによく「ウー」と言いますが、このときの音に似ています。舌は自然な状態にしておいて、唇を丸めます。

▶▶ [pəti]
petit



「小さい」

▶▶ [mɛʁkʁɛdi]
mercredi



「水曜日」

▶▶ [tə]
te



「君を、君に」

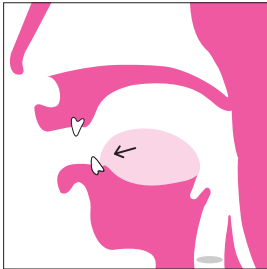


[œ]

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



[ø] を発音しながら、口を少し開きます。

▶▶ [œːʁ] **heure** ▶▶ [œːvʁ] **œuvre** ▶▶ [œf] **œuf**



「時間」



「仕事、作品」



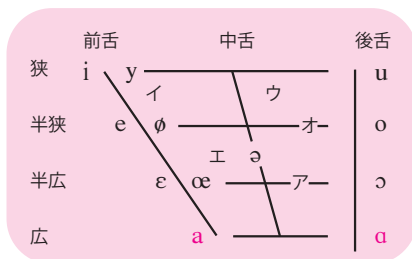
「卵」

母音 5



085

[a] [ɑ]



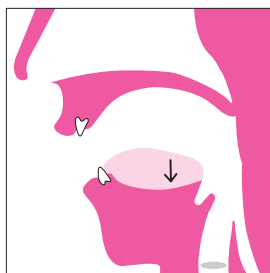
086

[a]

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



フランス語には前寄りの [a] と後ろ寄りの [ɑ] があります。[a] は舌が前寄りです。[ε] を発音しながら、口をもう少し開きます。

[la] là

[ta] ta

[ma] ma



「そこに」



「君の」



「私の」



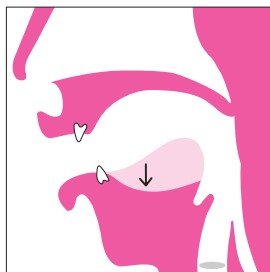
087

[ɑ]

PRONONCIATION

発音の仕方

PRONONCIATION



舌が後ろ寄りの [ɑ] です。[a] を発音するときの舌をもう少し後ろに引きます。唇は少し丸くなります。

[pa] pas

[ma] mât

[ta] tas



「歩幅」



「マスト」



「山積み」

小島 慶一（こじま・けいいち）

元聖徳大学名誉教授。元上智大学非常勤講師。元青山学院大学非常勤講師。元早稲田大学非常勤講師。元中央大学非常勤講師。元東洋英和女学院短期大学非常勤講師。元女子聖学院短期大学非常勤講師。元駒澤大学非常勤講師。

【著書(単著)】

- 研究書 ・『発話直前に想起される音声連鎖の構造——フランス語学習を例として、心象音声の応用——』
La structure de la séquence phonétique remémorée lors de l'émission —essai d'application des images phonétiques à l'apprentissage du français (2016. 朝日出版社刊)
- 参考書 ・『音声ノート——ことばと文化と人間と——』(2016. 朝日出版社刊)
・『超低速メソッド フランス語発音トレーニング』(2013. 国際語学社刊)
- 詩集 ・『思索してますか』(1997. 近代文芸社)
・『船長日記 〜ゆるり・ふらり〜』(2013. 朝日出版社刊)
- エッセイ ・『妖怪だー！！！！』(2000. 文芸社刊)
・『振り遊び日本語 〜テキトウでアイマイな日本語クイズ〜』(2019. 朝日出版社刊)
・『笑うかどうかに福来たる お洒落に笑って大笑わ 馬鹿・・しいけど大真面目』(2020. 朝日出版社刊)
・『節活百態 ああ何をおもわん』(2021. 朝日出版社刊)
・『刺さり種・語り種』(2023. 朝日出版社刊)
・『宙ぶらりん』(2024. 小学館スクウェア刊)
・『笑話の好きな昭和人』(2025. 小学館スクウェア刊)
- その他 学術論文 20 辞典など共著 2 日本語方言の母音 2 フランス語教科書 4
学会個人発表 5 共同発表 2 フィールドワーク国内 24 国外 9

© Keiichi Kojima, 2026, Printed in Japan

音声とイラストで楽しく学ぶ
やさしいフランス語の発音【新装版】

2017年 7月31日 初版第1刷発行
2021年 7月31日 第2刷発行
2026年 2月20日 新装版第1刷発行

著者 小島 慶一
制作 ツディブックス株式会社
発行者 田中 稔
発行所 株式会社 語研
〒101-0064
東京都千代田区神田猿樂町2-7-17
電話 03-3291-3986
ファクス 03-3291-6749
組版 ツディブックス株式会社
印刷・製本 シナノ書籍印刷株式会社

ISBN978-4-87615-462-3 C0085

書名 ヤサシイ フランスゴノ ハツオン シンソウバン

著者 コジマ ケイイチ

著作者および発行者の許可なく転載・複製することを禁じます。

定価はカバーに表示してあります。

乱丁本、落丁本はお取り替えいたします。

株式会社語研

語研ホームページ <https://www.goken-net.co.jp/>

本書の音声は
こちらから↓



本書の感想は
こちらから↓



